

Business REPORT

2021年3月期

報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

2021年4月1日

サワイグループホールディングス株式会社 誕生

なによりも健やかな暮らしのために

新長期ビジョン「Sawai Group Vision 2030」 人々の健康に貢献するイノベーターとして、 社会とともに持続的な成長を果たします。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2021年4月1日、沢井製薬は持株会社体制に移行し「サワイグループホールディングス」へと生まれ変わりました。変化の激しい事業環境に適切に対応し、社会とともに持続的に成長するヘルスケア企業グループとして、人々の健康に貢献できるよう努めてまいります。

IFRS基準に基づいた、当社グループの2021年3月期の連結会計年度の業績は、売上収益187,219百万円(前期比2.6%増)、コア営業利益34,043百万円(前期比1.0%減)、営業利益18,888百万円(前期比29.5%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益12,340百万円(前期比36.0%減)となりました。

セグメント別の概況

セグメント別の業績は次のとおりです。

日本セグメント

2020年4月の診療報酬改定においては、引き続きジェネリック医薬品の使用促進を図る施策がとられるなど、政府による追い風を受け、ジェネリック医薬品の使用割合は78.3%(2020年9月)にまで高まりました。その一方で、薬価改定が複数回実施された影響に

より、収益環境は厳しいものとなりました。

生産・供給体制面においては、2020年9月に老朽化が進む大阪工場を閉鎖して最新設備が揃う三田西工場へ機能を移管し、生産の高効率・低コスト化を実現しました。また全国の6工場でも、それぞれの特徴を活かし、生産効率の向上を図っています。

品質管理面では、ジェネリック医薬品業界において重大な不祥事が発生しましたが、当社グループでは、製造管理・品質管理基準(GMP)を遵守した原薬の品質の確保、製造工場でのGMP遵守の恒常的確認による品質管理体制、国際基準であるPIC/S-GMPに基づく製造管理・品質管理を行う等の取組みにより、品質に係るリスクを最小限に抑えています。

また製品開発・販売面では、2020年6月に14成分29品目、12月に2成分10品目の新製品を発売しました。

新型コロナウイルス感染症対策では、災害BCPのもと危機管理本部を立ち上げ、徹底した感染対策とともに、国内工場の稼働

を継続し、製品の安定供給に努めました。

こうした結果、売上収益は153,584百万円(前期比6.6%増)、セグメント利益は26,284百万円(前期比7.7%増)、コア営業利益(参考値)は30,258百万円(前期比14.3%増)となりました。

米国セグメント

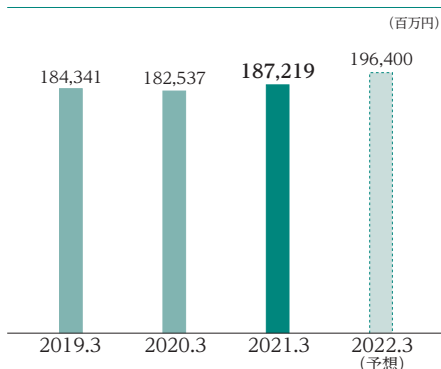
米国では、ジェネリック医薬品の価格は依然下落基調ではありますが、持ち直しの兆しが見えています。

こうしたなか当社グループの経営環境は、主力ブランドの「Qudexy」に競合企業が出現したほか、2019年に取得した「Tosymra™」が新型コロナウイルス感染症の拡大により販売が伸び悩み、56億円の減損損失が発生するなど厳しいものとなりました。

このような状況を打破すべく、新製品の拡充に取り組み、ジェネリック医薬品では、

沢井製薬2021年3月期のハイライト

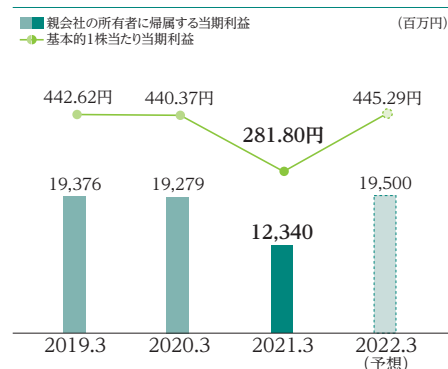
売上収益



営業利益／コア営業利益



親会社の所有者に帰属する当期利益／基本的1株当たり当期利益



のもと、

代表取締役社長
グループ最高執行責任者(グループCOO)兼
グループ管理統括役員(グループCAO)

末吉 一彦

代表取締役会長
グループ最高経営責任者(グループCEO)

澤井 光郎

代表取締役副会長
グループブランド担当役員(グループCBO)

澤井 健造

2020年6月に「エタクリン酸錠」、7月に「プロパフェノン塩酸塩徐放カプセル」、12月に「ラメルテオン錠」を発売しました。ブランド医薬品では、同年8月にAmbioPharm, Inc.と米国における「コルチコトリピン注射剤」の開発・販売のパートナーシップ契約の締結に至っております。

こうした結果、売上収益は33,635百万円(前期比12.4%減)、セグメント損失は7,396百万円(前期は2,388百万円のセグメント利益)、コア営業利益(参考値)は3,765百万円(前期比52.2%減)となりました。

新長期ビジョンが始動

当社グループでは、2030年度(2031年3月期)に向けた長期ビジョン「Sawai Group Vision 2030」を策定しました。近年では高齢化社会の進展により、ジェネリック医薬品市場が安定成長に移行する一方、予防・未病への注目が高まっています。さら

にヘルスケアや医療に対するニーズが多様化・高度化するなど、事業機会はますます拡大しており、従来のジェネリック医薬品事業を中核に据えながら、新規事業にも経営資源を投入し、新たな市場での成長を実現してまいります。

これらの取組みにより、最終2030年には売上収益4,000億円、国内のジェネリック医薬品シェア20%の達成を目指しています。

まずはそのファーストステップとして、2023年度(2024年3月期)を最終年度とする3ヵ年の新中期経営計画「START 2024」がスタートしました。

プライマリ領域におけるリーディングカンパニーを目指すとともにスペシャリティ

領域へも進出し、これまでにない治療機会を提供するイノベーターとして、新たな事業基盤の構築に注力します。

当社グループではALS治療への事業参画のほか、2021年1月にはNeurolief社と片頭痛・うつ病向けデジタル医療機器の日本独占開発販売契約を締結しています。

より多面的なヘルスケア事業活動に取り組み、これまで以上に「なくてはならない存在」を目指してまいります。

「なによりも健やかな暮らしのために」というグループ企業理念のもと、健康寿命の延伸にも貢献し、社会とともに持続的に発展するヘルスケア企業グループとしての責任を果たしてまいります。



詳細はホームページに掲載されている「IR情報」をご覧ください。

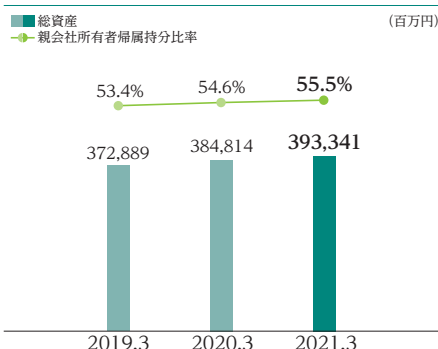
<https://www.sawai-group.holdings/ir/>

こちらのQRコード
からもアクセス!

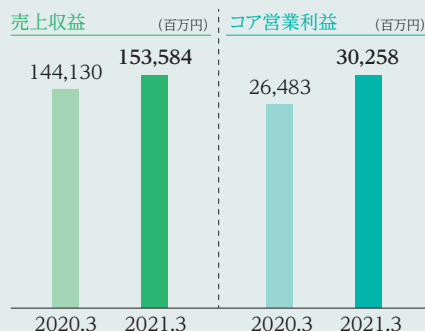


※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

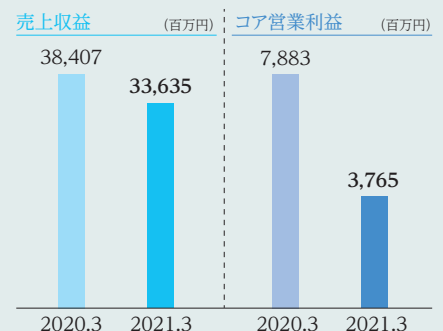
総資産／親会社所有者帰属持分比率



日本セグメント



米国セグメント



※セグメント別業績は調整があるため、全体の計数とは一致いたしません。

特集 新たな長期ビジョンと中期経営計画がスタートしました

2021年度より、2030年度に向けた長期ビジョン「Sawai Group Vision 2030」がスタートしました。当社グループの「創りたい世界像」と「ありたい姿」を明確にし、より多くの人々が身近にヘルスケアサービスを受けられ、社会の中で安心して生き活きと暮らせる世界の創造と、最終年度における売上収益目標4,000億円の実現を目指します。

その第一ステップとなる2023年度を最終年度とする3ヵ年の新中期経営計画「START 2024」では、新規事業分野への進出など事業拡大のための具体的戦略を策定しました。「なによりも健やかな暮らしのために」というグループ企業理念のもと、社会とともに持続的な成長を果たします。

長期ビジョン Sawai Group Vision 2030

創りたい世界像

より多くの人々が身近にヘルスケアサービスを受けられ、社会の中で安心して生き活きと暮らせる世界

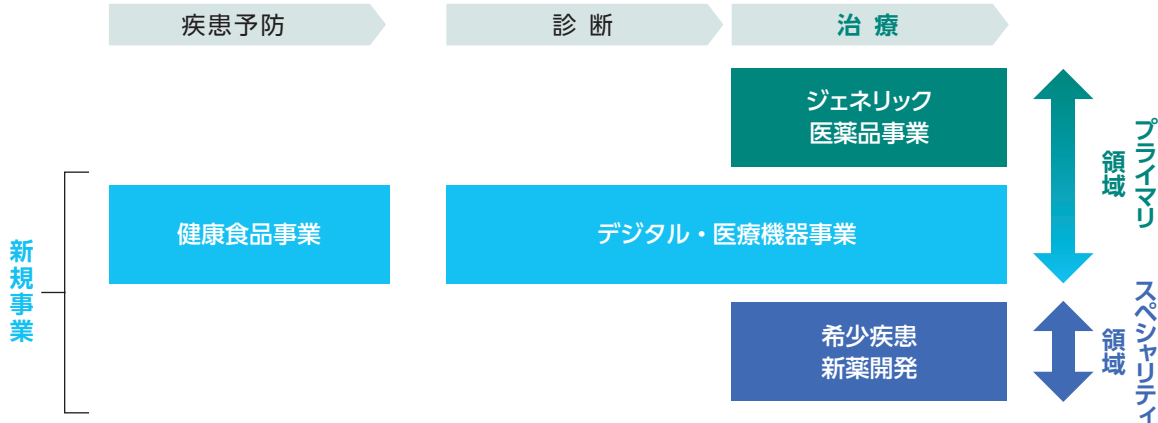
ありたい姿

個々のニーズに応じた、科学的根拠に基づく製品・サービスを複合的に提供することで、人々の健康に貢献し続ける存在感のある会社

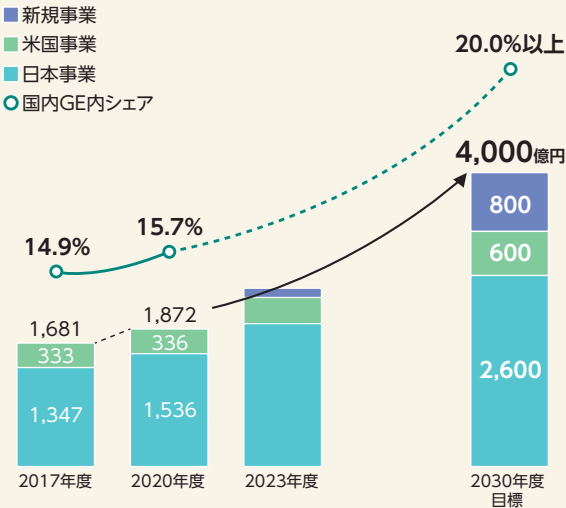
事業展開イメージ

ジェネリック医薬品事業を中核に新規事業も育成

プライマリ領域において、予防から治療まで幅広い範囲で、薬剤治療に限らない選択肢を提供。また、これまでにない治療機会を提供すべく、希少疾患領域の新薬開発事業にも参入。



目標数値



○目標および前提数値

		現在 2020年度	[Vision 2030] 2030年度
日本事業	売上収益	1,536億円	2,600億円
	販売数量	131億錠	200億錠
	販売数シェア	15.7%	20.0%以上
	生産能力	155億錠	230億錠以上
新規事業	売上収益	—	800億円
米国事業	売上収益	336億円	600億円
売上収益合計		1,872億円	4,000億円
R O E		5.8%	10%以上

中期経営計画 START 2024

3つの柱

ジェネリック医薬品事業

①国内GE市場におけるシェア拡大

- 新製品の売上増加
- 安定供給力の強化

②米国事業における将来の成長に向けた事業投資

新規事業への進出

③新たな成長分野の開拓

- デジタル・医療機器事業
- オーフアン医薬品事業 (ALS等)
- 健康食品事業

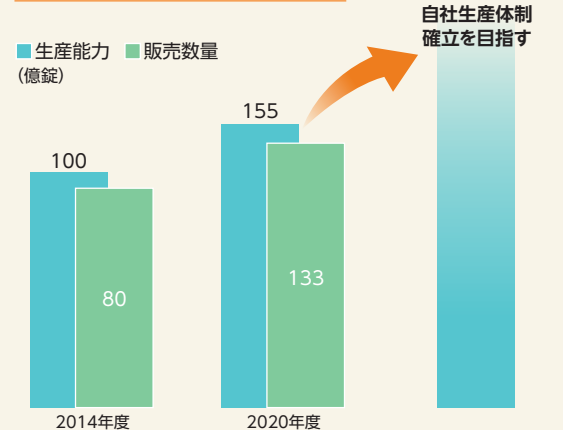
国内GE市場のシェア拡大

「新製品の売上増加」および「安定供給力の強化」を重点施策とし、国内GE市場のシェア拡大を実現します。当中期経営計画の3年間で、85品目以上の新製品の発売を予定しており、当社の強みである知財戦略を活かしながら収益とシェアの拡大を図ります。また今後の需要拡大を見据え、自社工場建設などに先行投資し、供給能力の強化を図ります。

○新製品発売計画 ※下記以外にも単独上市品目の発売を計画

	2021年度	2022年度	2023年度
成分数	14	11	14
品目数	32	27	26
先発市場(億円)	2,507	2,880	2,744

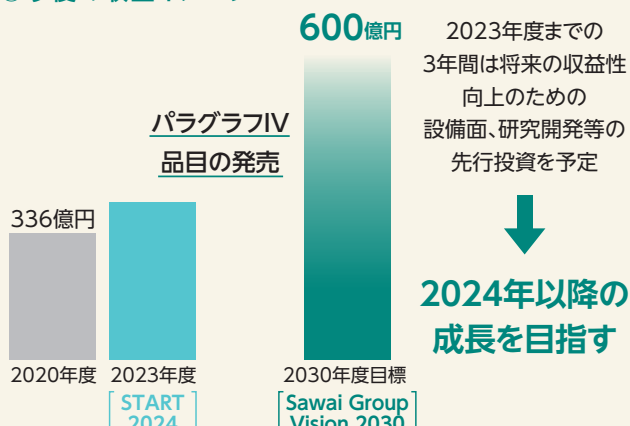
業界随一の生産能力、販売数量



米国事業における将来の成長に向けた事業投資

当中期経営計画の3年間は、将来の収益性向上に向けた事業投資の時期と位置付け、研究開発や設備への先行投資を行います。またスペシャリティGE医薬品企業として、独自の販売力を活かせるジェネリック医薬品と小規模のブランド薬にフォーカスし、持続的で長期的な成長を推進してまいります。

○今後の収益イメージ



○米国事業 (USL社) の戦略と成長ドライバー

目指す姿

- スペシャリティGE医薬品企業として、独自の販売力を活かせるGE医薬品と小規模のブランド薬にフォーカスし持続的で長期に亘る成長を推進

成長ドライバー

- 既存のブランド薬およびGE医薬品の販売推進による売上への寄与
- ニッチなジェネリック医薬品を中心にさらなる製品ラインナップの充実
- 沢井製薬との協働による難易度の高いパイプラインと製品ラインナップの強化

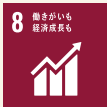
新規事業への進出

日本政府は今後、未病・予防対策、データヘルス改革などによる健康長寿社会の実現を目指しており、それに合わせて当社グループでも新薬事業、デジタル・医療機器事業、健康食品事業の3領域へ新たに進出します。これらに対し総額300億円の投資枠を設定し、重点的なリソース投入を行ってまいります。

スペシャリティ領域	プライマリ領域	
新薬事業	デジタル・医療機器事業	健康食品事業
オーファン疾患 (ALSなど)	うつ・精神病治療	未病対策
	糖尿病・生活習慣病管理	健康寿命の延伸

社会課題解決に向けた取組み

SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」を筆頭に、環境、社会などの課題に積極的に取り組みます。当社グループではこれまでも、事業活動を通じて医療費増大という社会的課題の改善に寄与してきました。今後も日米ジェネリック事業における売上の約2倍の医療費節減を目標に、持続可能な社会保障制度と医療アクセスの向上を目指します。

取り組む課題	数値目標等	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
本業（事業） 1 持続可能な社会保障制度と医療アクセス向上への貢献（GEによる医療費節減）	日米GE事業売上の約 2倍 の医療費節減効果	 
2 新規事業による健康寿命延伸への貢献	未病・予病を含むより広いヘルスケア領域に事業拡大	
ステークホルダーとの関係 3 E：環境に配慮した生産	生産数量原単位CO ₂ 排出量 25% 削減（2030年度） 廃プラ再資源化率 65% 以上（2030年時点）	 
4 S：人材育成、働き方・働きがい、人権尊重	安全・多様な職場環境 / ダイバーシティの推進 / 人権尊重への取組み	
5 G：コーポレートガバナンスの深化	持株会社化を通じたガバナンスの整備・運用深化 / リスクマネジメント・コンプライアンス強化	



●さらに詳しい情報をご覧ください。
<https://finance.logmi.jp/376323>

こちらのQRコード
からもアクセス!



[沢井製薬] New Products

2021年6月に8成分23品目の新製品を薬価収載

高血圧治療剤『ジルムロ配合錠/OD錠「サワイ」』は、錠剤と口腔内崩壊錠(OD錠)の2剤形を発売いたします。特に、アジルサルタン・アムロジピンベシル酸塩配合剤として初のOD錠であり、香料不使用で、添加剤由来の甘味のある製剤となっています。また、両剤形ともバラ包装を用意しております。

過活動膀胱治療剤『ソリフェナシンコハク酸塩「サワイ」』も、錠剤とOD錠の2剤形を発売いたします。両剤形とも5mg規格には、

バラ包装を用意するとともに、割線を付与する工夫を行っております。

その他、不眠症治療薬『エスゾピクロン錠「サワイ」』、セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤『デュロキセチンカプセル「サワイ」』、肺動脈性肺高血圧症治療剤『タダラフィル錠AD「サワイ」』、抗アレルギー点眼剤『エピナスチン塩酸塩点眼液「サワイ」』など、全8成分23品目を薬価収載いたします。

持続性AT₁レセプターブロッカー／持続性Ca拮抗薬配合剤

過活動膀胱治療剤

不眠症治療薬



ジルムロ配合錠
LD「サワイ」



ジルムロ配合錠
HD「サワイ」



ジルムロ配合OD錠
LD「サワイ」



ジルムロ配合OD錠
HD「サワイ」



ソリフェナシンコハク酸塩錠
2.5mg「サワイ」



ソリフェナシンコハク酸塩錠
5mg「サワイ」



ソリフェナシンコハク酸塩
OD錠 2.5mg「サワイ」



ソリフェナシンコハク酸塩
OD錠 5mg「サワイ」



エスゾピクロン錠
1mg「サワイ」



エスゾピクロン錠
2mg「サワイ」



エスゾピクロン錠
3mg「サワイ」

セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤

ホスホジエステラーゼ5阻害剤

抗アレルギー点眼剤



デュロキセチンカプセル
20mg「サワイ」



デュロキセチンカプセル
30mg「サワイ」



タダラフィル錠
20mg AD「サワイ」



エピナスチン塩酸塩
点眼液 0.05%
「サワイ」

TOPICS

サワイグループの社会貢献①
寄付型自動販売機の設定

当社グループでは、各拠点に設置するいくつかの自動販売機において「寄付型自動販売機」を採用しています。これは売上1本ごとに、希望した団体への寄付ができる自動販売機で、当社では下記の団体への寄付を設定しています。

2020年設置	●ピンクリボン	5台
	●緑の募金	1台
2018年設置	●子供の未来応援基金	1台

サワイグループの社会貢献②
本社献血活動40年継続表彰

当社グループでは、事業所構内で定期的に献血への協力を行っています。この度、本社内において40年にわたり継続されている当社の献血への取組みに対し、日本赤十字社より感謝状をいただきました。当社の企業理念を胸に、今後もこれらの活動に積極的に取り組んでまいります。



会社の概要

(2021年4月1日現在)

社名	サワイグループホールディングス株式会社 SAWAI GROUP HOLDINGS CO., Ltd.
創業	1929年4月1日
設立	2021年4月1日
資本金	100億円
連結従業員数	3,003名(2021年3月31日現在)
事業内容	グループの経営管理および関連する業務を担う持株会社
決算期	3月31日

沢井製薬株式会社は株式移転により2021年4月1日付で「サワイグループホールディングス株式会社」を設立し、持株会社体制へ移行いたしました。

役員

(2021年4月1日現在)

代表取締役会長／グループ最高経営責任者(グループCEO)	澤井 光郎
代表取締役副会長／グループブランド担当役員(グループCBO)	澤井 健造
代表取締役社長／グループ最高執行責任者(グループCOO)兼グループ管理統括役員(グループCAO)	末吉 一彦
取締役常務執行役員／グループ品質・安全統括役員(グループCQO)	寺島 徹
社外取締役	小原 正敏
社外取締役	東堂 なをみ
常勤監査役	坪倉 忠男
社外監査役	友廣 隆宣
社外監査役	平野 潤一
常務執行役員／グループ生産統括役員(グループCPO)	木村 元彦
常務執行役員／グループ研究開発統括役員(グループCRO)	横田 祥士
常務執行役員／グループ米国事業担当役員	佐々木 雅啓
上席執行役員／グループ人事担当役員(グループCHRO)兼グループ人事部長	濱田 輝
上席執行役員／グループ財務担当役員(グループCFO)兼グループ財務部長	櫻井 良樹
執行役員／グループマーケティング統括役員(グループCMO)(2021年7月1日より上席執行役員)	西村 誠治
執行役員／グループ戦略企画担当役員(グループCSO)兼グループ戦略企画部長	中岡 卓

グループ会社

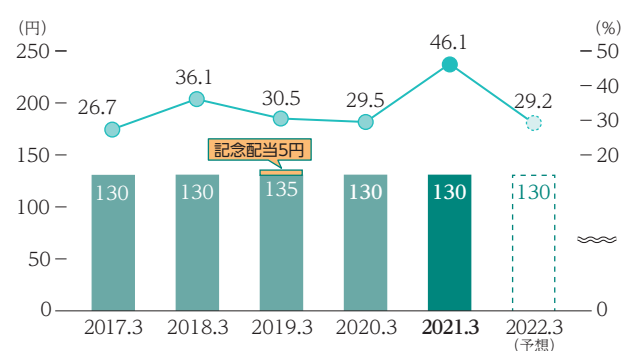
(2021年4月1日現在)

日本	沢井製薬株式会社
	メディサ新薬株式会社
	化研生薬株式会社
米国	Sawai America Holdings INC.
	Sawai America, LLC
	Upsher-Smith Laboratories, LLC

成長投資と株主還元

当社は株主還元を経営の重要課題の一つとして位置づけていますが、成長投資とのバランスに配慮するとともに、毎期の連結業績、配当性向、その他の株主還元策等を総合的に勘案しながら、配当性向30%を目処に安定的かつ継続的な配当を行ってまいります。

1株当たり配当・配当性向



※2018年3月期からIFRSを任意適用

※2021年3月31日までは沢井製薬株式会社の実績

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領 株主確定日	毎年3月31日および中間配当を行うときは 毎年9月30日
基準日	定時株主総会については3月31日といたします。その他 必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
よくあるご質問 (FAQ)	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal
公告方法	電子公告としております。ただし、事故やその他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 ※ 公告掲載の当社ホームページアドレス https://www.sawaigroup.holdings/ir/

[住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について]

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認ください。

[未払配当金の支払いについて]

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

※配当金に関する支払調書

※単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とお取引がない株主様

下記のフリーダイヤルまでお問い合わせください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-782-031

サワイグループホールディングス株式会社

〒532-0003 大阪市淀川区宮原五丁目2-30 TEL: 06-6105-5818 FAX: 06-6394-7311 URL: <https://www.sawaigroup.holdings>

